

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成30年8月2日 (2018.8.2)

【公表番号】特表2017-527510(P2017-527510A)

【公表日】平成29年9月21日 (2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2016-574926(P2016-574926)

【国際特許分類】

C 0 3 C 27/06 (2006.01)

C 0 3 C 21/00 (2006.01)

B 3 2 B 3/26 (2006.01)

B 3 2 B 17/06 (2006.01)

A 4 7 F 3/04 (2006.01)

F 2 5 D 23/02 (2006.01)

F 2 5 D 29/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 3 C 27/06 1 0 1 H

C 0 3 C 21/00 1 0 1

B 3 2 B 3/26 A

B 3 2 B 17/06

A 4 7 F 3/04 D

F 2 5 D 23/02 3 0 2

F 2 5 D 29/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月22日 (2018.6.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

断熱ガラスユニットにおいて、
外面および内面を有する第 1 の板ガラス、
外面および内面を有する第 2 の板ガラス、および
前記第 1 の板ガラスと前記第 2 の板ガラスの間に画成された第 1 の密封間隙、
を備え、
前記第 1 の密封間隙が、少なくとも 1 種類の断熱ガスまたはその混合物で満たされており、
前記第 1 の板ガラスと前記第 2 の板ガラスのいずれか 1 つ以上が、約 0 . 7 m m 以下の厚さを有し、化学強化されている、断熱ガラスユニット。

【請求項 2】

前記第 1 の板ガラスと前記第 2 の板ガラスの間に配置された第 3 の板ガラス、
前記第 1 の板ガラスと前記第 3 の板ガラスの間に画成された、少なくとも 1 種類の断熱ガスまたはその混合物で満たされた第 2 の密封間隙、および
前記第 2 の板ガラスと前記第 3 の板ガラスの間に画成された、少なくとも 1 種類の断熱ガスまたはその混合物で満たされた第 3 の密封間隙、
をさらに備え、

前記第 3 の板ガラスが、約 0 . 7 m m 以下の厚さを有する、請求項 1 記載の断熱ガラスユニット。

【請求項 3】

前記第 3 の板ガラスが化学強化されている、請求項 2 記載の断熱ガラスユニット。

【請求項 4】

前記第 1 と第 2 の板ガラスの中間に第 4 の板ガラスをさらに備え、該第 4 の板ガラスが、約 0 . 7 m m 以下の厚さを有し、化学強化されている、請求項 1 から 3 いずれか 1 項記載の断熱ガラスユニット。

【請求項 5】

前記第 1 の板ガラス、前記第 2 の板ガラス、および前記第 3 の板ガラスのいずれか 1 つ以上が、電子ディスプレイ、バックライトユニット (B L U)、導波路、導光板 (L G)、およびタッチ機能表面のいずれか 1 つ以上を備える、請求項 1 から 4 いずれか 1 項記載の断熱ガラスユニット。